

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第2790地区
木更津東ロータリークラブ
2020-21年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2020-21年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

第7回 例会 NO. 2498

2020年9月16日(水)

私の旅シリーズ『ストーンマウンテン』



ストーン・マウンテン (Stone Mountain) は、アメリカ合衆国ジョージア州ストーンマウンテン (アトランタ東郊) にある標高 513m の山。世界最大の花崗岩の一枚岩で、周囲からの高さは 251m である。その山腹にある南北戦争の南軍の司令官・将軍 3 名のレリーフでも知られている。
撮撮影者: 小林裕治会員♡小林千晃会員

■司会進行

内田重 S. A. A



◆点鐘

松岡邦佳会長

12時30分

◆Rソング「手に手つないで」

◆出席

会員 44名

出席 27名

欠席 17名

◆出席率 67.50%

◆前々回出席率 69.23%

◆修正後出席率 79.48%

◆メイクアップ【敬称略】

・9/2 第3回理事会

松岡邦佳・近藤直弘・山田修平・
吉田和義・石田亨・渡辺元貴・
加藤智生・堀内正人

・9/12 地区財団セミナー 堀内正人

・8/8 // RLIパートII 山田修平

・9/7 // RLIパートIII 山田修平

・9/16 戦略計画特別委員会

林孝次郎・渡邊慎司・近藤直弘・
大里光夫・吉田和義・加藤智生・
松岡邦佳・渡辺元貴・大岩もえ・
倉島和広

◆欠席者【敬称略】

石井文子・金見和子・小林千晃・小林裕治・
阪中昌司・嶋津正和・鈴木秀幸・田口理沙・
塚本秀夫・鶴岡大治・中野麻美・林田謙志・
宮寺順子

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会長 松岡邦佳
幹事 近藤直弘
編集 藤野宏治

国際ロータリー第2790地区

RI会長 ホルガー・クナーク
地区ガバナー 漆原 撰子
ガバナー補佐 窪田 謙

◆四つのテスト
雑誌姉妹クラブ委員会
叶川博章委員長



■ゲスト・来訪ロータリアン紹介
松岡邦佳会長

◇国際ロータリー第2790地区
職業・社会・国際奉仕統括委員長
柏西RC 水野晋治様

■会長挨拶・報告
松岡邦佳会長



皆様こんにちは。
今週に入り少し涼しく
なりようやく秋が訪れ
てきた感じがします。
今日は個人的な活動に
ついてお話ししたいと思います。

私は20年くらい前から自殺者を減らす活動
をしています。昨年1年間の日本の自殺者はど
のくらいかご存じでしょうか。令和元年度は2
万0169人とのことです。その原因としては
1番が健康問題で9800人余り、2番が経済
問題で3400人、3番が家庭問題で3000
人です。数のピークは昭和53年以降平成15
年の34427人で平成10年から平成23
年は年間3万人を超えていてその後徐々に減
少している状況です。

私の自殺者数減少への取り組みは平成11
年に司法修習生で広島に居た時に先輩弁護士
と広島県に自殺者を減らすための要請に行っ
たことがきっかけで、特に仕事柄経済問題に
よる自殺者を減らそうと裁判所を通じた活動や
法改正のための活動、警察や行政に対する要請
活動を行ってきました。一定の成果が見えてき
たもののまだまだ多いというのが率直な感想
です。今後もこの活動をしていきたいと考えて
います。

■幹事報告
近藤直弘幹事

◇報告事項
1. 幹事報告
特になし

2. 他クラブからのお知らせ
特になし

3. その他のお知らせ

- ① 木更津交通安全推進協議会より『秋の全国
交通安全運動の実施について』が届いてお
りますので、回覧致します。



4. 回覧

- ① 木更津交通安全推進協議会より
『秋の全国交通安全運動の実施について』

■委員会報告

◆ニコニコボックス
出席・ニコニコ・報告委員会

佐藤文夫会員



◇足立宗禅会員
結婚記念日の花束を
有難うございました。

◇堀内正人会長
本日は国際ロータリー2790地区職業・社
会・国際奉仕統括委員長の水野様に卓話を頂
きます。宜しくお願ひ致します。

■例会アワー

◆卓話者のご紹介 職業奉仕 堀内正人会員



◆卓話

国際ロータリー第2790地区
国際奉仕統括委員会
水野晋治委員長

『ロータリーの奉仕について
考えてみましょう』



最初に職業奉仕について皆様と一緒に考え
てみたいと思います。
「職業」とはお金を儲けるための手段で、自分
自身のためのものです。
一方、「奉仕」とは世のため人のためのもので、
自分以外の「人のためのもの」です。
このように正反対の2つの言葉が1つになっ
て職業奉仕と言うため非常に解りにくい
のではないのでしょうか？この職業奉仕という
言葉はロータリー用語です。

「職業奉仕」という言葉は、「職業」すなわち金を儲けることであり、「奉仕」すなわち世のため人のために尽くすことです。

繰り返しになりますが、ロータリーの職業奉仕とは、「職業を営むこと（金を儲けること）が、世のため人のための奉仕となる」と言っているのです。

ここが職業奉仕にとって一番難解な点ではないでしょうか？

職業奉仕とはなんなのでしょう？

自分の職業を通して社会に奉仕する事が職業奉仕だとよく言われます。

しかし、自分の職業を通す通さないに関わらず、社会に奉仕するのですから、その奉仕活動は社会奉仕ではないのでしょうか？

職業奉仕が含まれていないのかということではありません。

地域の中で職業を通じ奉仕活動をする事によって、その地域の人々、地域社会から「尊敬と信頼と信用」をご自身が得るとします。

そして自分の職業がその反射的効果として繁栄するこれがロータリーの「職業奉仕」です。

職業を通じた奉仕活動は、場合によっては社会奉仕と職業奉仕が表裏一体になると思います。

大先輩から「世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営むべき」と教わりました。

この言葉は何を意味しているのかというと、それは自分のお金儲けに対して「人を泣かせる

ようなお金儲けをしてはいけない、人をだましてお金儲けをしてもいけない、非道徳的、非社会的行為をしてお金儲けをしてはいけない、世

のため人のためになるようなお金儲けをしなければならない」と言っているのであり、自分の職業に対して強く「倫理性」を要求している

のです。これが職業奉仕の基本ではないのでしょうか？改めてここでロータリーの目的をおさらいしましょう。

皆様は当然ロータリーの目的はご存知だと思いますが、改めて申し上げます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。

具体的には、次の各項を奨励することにある

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。以上です。

ロータリーの「職業奉仕」という概念について考えてみましょう。

「ロータリーの目的」（前頁を参照）は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

・ 職業上の高い倫理基準

・ 役立つ仕事は全て価値あるものという認識

・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

では、その職業奉仕、どのように実践するのでしょうか？

一例をご紹介します。

・ 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う

・ 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす

・ 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す

・ 若者のキャリア目標を支援する

・ 専門能力の開発

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものと言われています。

さらにもっと深く職業奉仕を知る上で、決議23-34 やロータリーの標語といった事を語らなくてはなりません、残念ながら時間もさることながら未熟な私にはそのような説明は到底できません。違う機会に皆様でじっくり話し合

っていただきたいと思います。

そんな訳で、全てを話していると何時間あってもありません。そこで、ショートカットし、極端な説明をさせていただきます。

職業奉仕には精神的な部分をとらえた「内向きの職業奉仕」と実践的活動を伴うような「外向きの職業奉仕」があると思います。

この外向きの職業奉仕を含めたクラブとしての奉仕全般について皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。

本年度私の委員会は、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の3つの委員会をまとめております。

職業奉仕委員会では、表向き・行動する職業奉仕を中心に情報発信をしていきたいと考えております。

例えば、職業上のスキルを活かしたプロジェクトを紹介すると、地区補助金を使った事業ですが、昨年度佐倉 RC で実施した「フィリピン歯科奉仕活動」という事業があります。

クラブに歯科医師が数名おり、その会員の協力を得てフィリピンで無料の歯科検診、虫歯の治療を行ったという事業がありました。

まさに職業奉仕と国際奉仕が合体した例です。他にもいくつかのクラブで毎年実施されていますが、地域の学校へ会員が出向く出前教室などもそうです。職業奉仕と社会奉仕が合体しています。行動する職業奉仕は社会奉仕や国際奉仕と重なるという側面をもっています。単なる職業奉仕とは考えず、社会奉仕、国際奉仕から職業奉仕を見て行くと視点が変わり、広がりが出てくるかも知れません。

社会奉仕委員会では、特に力を入れるのは昨年の台風15号、19号により広範囲に大きな被害が出ました。

今後何十年に一度の台風や豪雨被害が出てもおかしくありません。先日の熊本県人吉市での球磨川氾濫による豪雨災害は記憶に新しいところだと思います。

2720 地区人吉ロータリークラブ、人吉中央ロータリークラブという二つのクラブがあります。

熊本地震の時にできた共済システムが再び活躍しました。

水害が発生した二日後には 2720 地区の支援トラックが支援物資を満載にし、熊本市を出発しました。

そして、人吉 RC 直全会長の会社の隣のビルの空き店舗に市民に向けた支援拠点を構築しました。

たまたま人吉中央 RC 今年度幹事が看板屋さんです。この支援拠点の看板をすぐに作成し、立派な拠点となりました。

旅館を経営している会員が、観光情報を PR するため、SNS を活用していたのですが、その方が中心となり Facebook などの SNS を使い、全国のロータリアンに向けに最新の情報を発信しました。

そして連日全国のクラブから支援物資が届いています。

とても素晴らしい取り組みです。我々千葉でも昨年大変被害が出ました。多方面から地区及び被災したクラブへ支援の問い合わせがあったことと思います。

私のクラブでも何か支援をできないかと模索しました。しかし、実際に被災した地域のロータリアンは自分自身の事で手一杯でなかなか地域の支援まで手が回らないというのが実情かと思えます。身近な災害に何もできないもどかしさを感じました。

この時は個人的に現地にボランティアに行き、地元の社会福祉協議会の方と話し、必要な物資を聞き取り、後日クラブとして支援物資を送りました。

できたらこのような場合の支援ネットワークを作りたいと思っております。

2560 地区の災害ネットワークの一部をご紹介します。中越沖地震を教訓に災害支援ネットワークを作りました。先ほどの熊本もそうですが、大きな災害の後、そのまま終わってしまっただけではないかと思えます。

このような災害ネットワークのようなものを少しでも作るきっかけができないかと思っております。

最後に国際奉仕です。

今年度は実際に海外に出向き、奉仕活動をするといった実践的な奉仕活動はできないかと思えます。

しかし、国際奉仕はすぐになにかやろうと言っても相手国のニーズの調査や、物資の調達方法など比較的準備に時間がかかります。

このような時こそじっくりインターネットでも使い調査をしていただき来年度、再来年度に向けた準備期間にしていきたいと思います。

ちなみに、ロータリーの五大奉仕とは、ご存知の通りこの3つにクラブ奉仕と青少年奉仕が加わり5つとなっております。

私はこの5大奉仕を元に奉仕プロジェクトという考え方に少し違和感がありました。

そんな時、二年前クラブで、時の職業奉仕委員長が何故かシンガポールに職場見学を兼ねた打ち上げ旅行に行きたいと熱望し、実現する事になりました。

現地のクラブにメイクアップ (MU) しようという話になり、たまたま多少英語が話せるという事で、Facebook を通じ、現地のクラブのメンバーと SNS を利用し、アポイントを取り付け、約二十数名で MU することになりました。

例会時にクラブのメンバーといろいろ話している中で、「あなたのクラブは何の奉仕に取り組んでいますか?」と聞かれ、返答に困っていると、「私たちのクラブでは水と衛生」を重点的

に取り組んでいます。たまに教育の支援をします。というのです。一瞬何の事かと思いましたが、ロータリー (ロータリー財団) の6つの重点分野だと気づきました。

そう、世界のロータリークラブでは5大奉仕に時にこだわることなく、ロータリー (ロータリー財団) の6つの重点分野を軸に奉仕活動に取り組んでいる国が多いのです。

この6月に、新たに「環境の保全」が加わり、7つの重点分野になりました。

皆様もぜひこの重点分野を軸に奉仕プロジェクトを考えてみてはいかがでしょうか?

これまでと違った視点での奉仕プロジェクトが見えてきませんか?

最後に本年度の私の委員会の PR を少しだけさせて下さい。

12月20日(日) TKP ガーデンシティ千葉において 2790 地区奉仕の集いという奉仕セミナーを開催します。国際奉仕や社会奉仕の事例発表など、奉仕プロジェクト立案の参考になるようなセミナーにしたいと考えております。

ご参加おまちしております。

ご清聴ありがとうございました。

【お礼の記念品贈呈】



ありがとう
ごさまりに

【本日のメニュー】



◆点鐘 松岡 邦佳会長 13時30